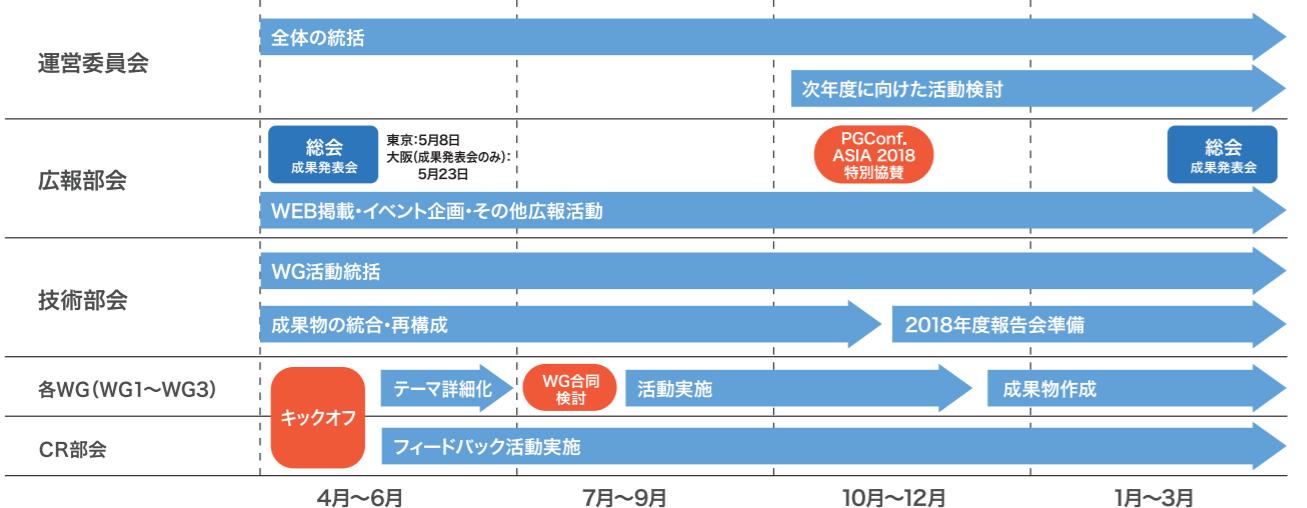


活動スケジュール



主なイベント

- 5月8日 —— 総会
- 5月8・23日 —— 2017年度活動成績発表セミナー(東京・大阪)
- 9月19～21日 —— db tech showcase 2018
- 12月10～12日 —— PGConf.Asia 2018

参加会員一覧 (参加法人名)

正会員(16社)	(株)アシスト	日本電信電話(株)
	SRA OSS Inc. 日本支社	
	NECソリューションイノベータ株式会社	HITACHI Inspire the Next
	NTTテクノクロス株式会社	日立ソリューションズ
	特定非営利活動法人LPI-Japan	富士通(株)
	サイオステクノロジー(株)	FUJITSU
	TIS(株)	FUJITSU 富士通エフ・アイ・ピー株式会社
	日本電気(株)	FUJITSU 富士通ソーシャルサイエンスボラトリ
一般会員(46社)	三菱電機株式会社	日本電子計算株式会社

会員募集 (正会員・一般会員を広く募集いたします!)

一緒にPostgreSQLのエンタープライズ領域への促進活動を行っていただける団体様 [正会員](#)
PostgreSQLのエンタープライズ領域に興味を持っている団体様 [一般会員](#)

お問合せ



〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-32-8 SRA OSS, Inc.日本支社内

PostgreSQLエンタープライズコンソーシアム事務局

<https://www.pgecons.org/>

2018.11



PGECons

PostgreSQL Enterprise Consortium

PostgreSQLエンタープライズ・コンソーシアム(略称PGECons)のご紹介

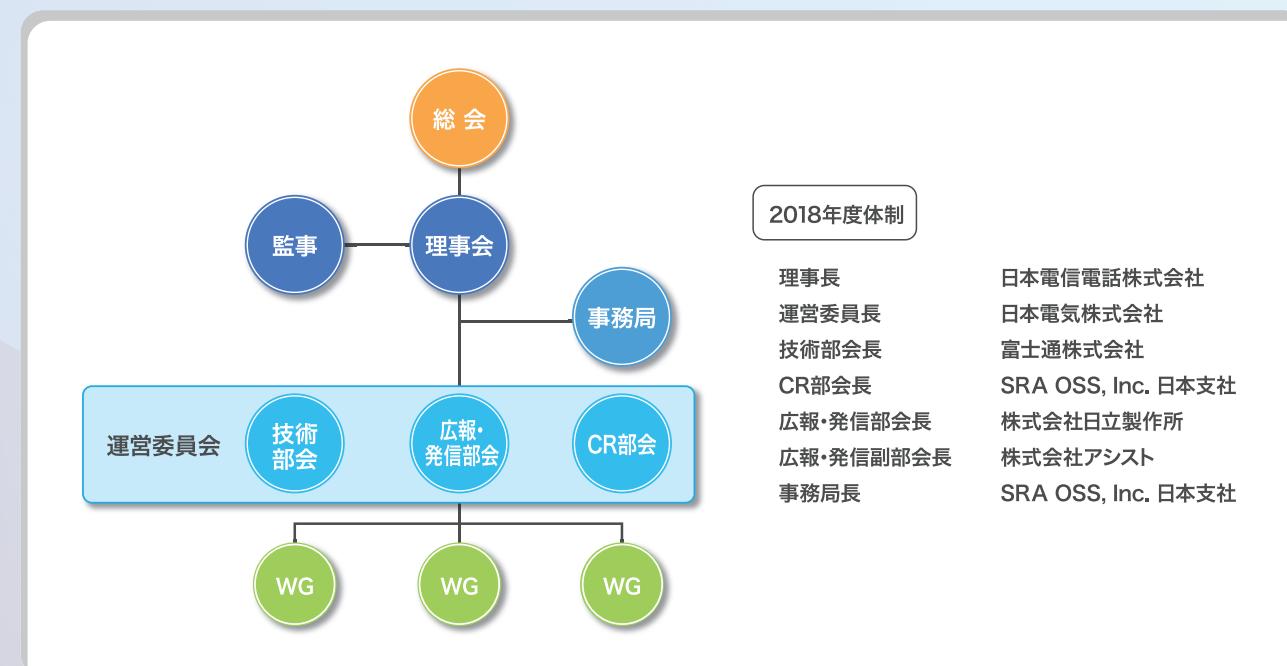
PGEConsの発足と目的

- ・2012年4月11日発足
- ・ミッションクリティカル性の高いエンタープライズ領域へのPostgreSQLの普及を推進するため、各種ツールやPostgreSQL本体に関する利用技術情報の収集と提供および、その整備などの活動を企業ベースで展開します

活動項目	概要
情報発信	会員の導入実績を基に、PostgreSQLおよび周辺ツールに関する情報を集約し、情報発信サイトやセミナー等を通じて提供します
共同検証	エンタープライズ領域への適用に向けて必要となる情報を、実証を通じて充実を図ります
開発コミュニティへのフィードバック	よりミッションクリティカル性の高い領域への適用に向けた技術的な課題を集約し、開発コミュニティに要望を発信します
開発プロジェクト支援	会員間での機能拡張に関する連携開発や、必要な周辺ツールの開発プロジェクト支援を進めます

体制・会員構成

会員は法人およびそれに準ずる団体で構成します



種別	概要	総会議決権
正会員	理事	理事会に参加、理事長および運営委員長は理事のうちから就任する
	運営委員	運営委員会に参加、部会長およびWG長は運営委員から就任する
一般会員	ワーキンググループ(WG)やCRS等に参加し、活動に貢献	あり
	メールリストやWebなどから、活動情報を取得することが可能	なし

PGEConsの活動方針 (平成30年度)

「新しい時代のPostgreSQL活用へ」

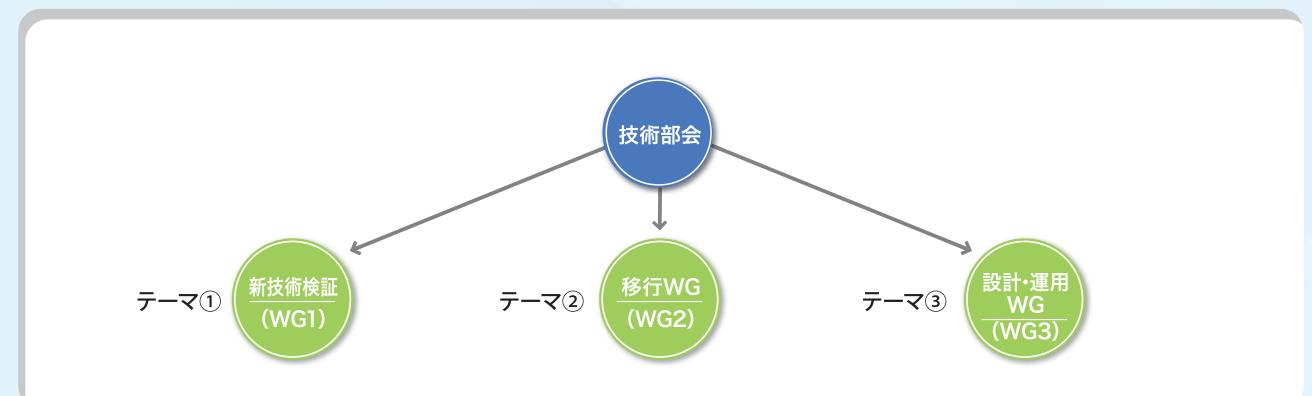
- PostgreSQLの潜在利用者の掘り起こし
 - ・PGEConsのステークホルダーの拡大活動(エンドユーザやPostgreSQL未経験のSIerなど)
 - ・PostgreSQL技術者の拡大に向けた取り組みを検討
- 成果物・セミナーなどの情報発力を最強化

技術部会

- 幅広いPostgreSQLの導入実績を持つ会員が、OSS/商用ソフトウェアによるエコシステムの構築を通じてPostgreSQLの普及を推進します
- ・活用情報の集約と発信 ・共同検証



2018年度の技術部会WGと活動テーマ



広報部会

エンタープライズ領域に必要な情報発信活動(Webの作成やメーリングリスト、イベントの実施など)やコンソーシアムの広報活動を行います
主な情報発信コンテンツ(予定を含む)

- ・エンタープライズ利用で役立つPostgreSQL関連情報 ・PostgreSQL対応の商用連携製品の紹介
- ・PostgreSQL導入事例 ・各部会、WG成果物紹介

CR (Community Relations) 部会

2016年7月活動開始

活動方針

- ・「情報発信」・「共同検証」だけでなく、発足からの活動目的の3つ目のテーマ「開発コミュニティへのフィードバック」を視野に
- ・PGEConsから日本のエンタープライズ領域における具体的な課題感と、その改善提案を、開発コミュニティにフィードバックしていく